

An aerial photograph of a city, likely Tokyo, with a prominent river winding through it. The image is overlaid with a semi-transparent blue filter. The text is centered and written in white, bold Japanese characters.

令和5年度

江戸川区防災会議

江戸川区国民保護協議会

令和5年10月18日

令和5年度

江戸川区防災会議

# 江戸川区地域防災計画

令和5年度修正(案)について

# 主な修正事項（案）

- 1 被害想定の更新
- 2 女性の参画
- 3 防災活動拠点の形成
- 4 感震ブレイカーの配布事業
- 5 情報発信ツールの充実
- 6 要配慮者支援体制の整備

# 主な修正事項（案）

- 1 被害想定の更新
- 2 女性の参画
- 3 防災活動拠点の形成
- 4 感震ブレイカーの配布事業
- 5 情報発信ツールの充実
- 6 要配慮者支援体制の整備

# 1 被害想定の更新

令和4年5月25日 東京都公表

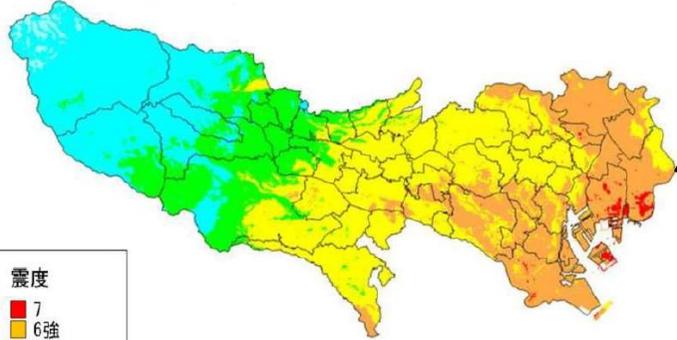
首都直下地震等における東京の被害想定の見直し

想定条件：都心南部直下地震（冬・夕方、風速8m/s）

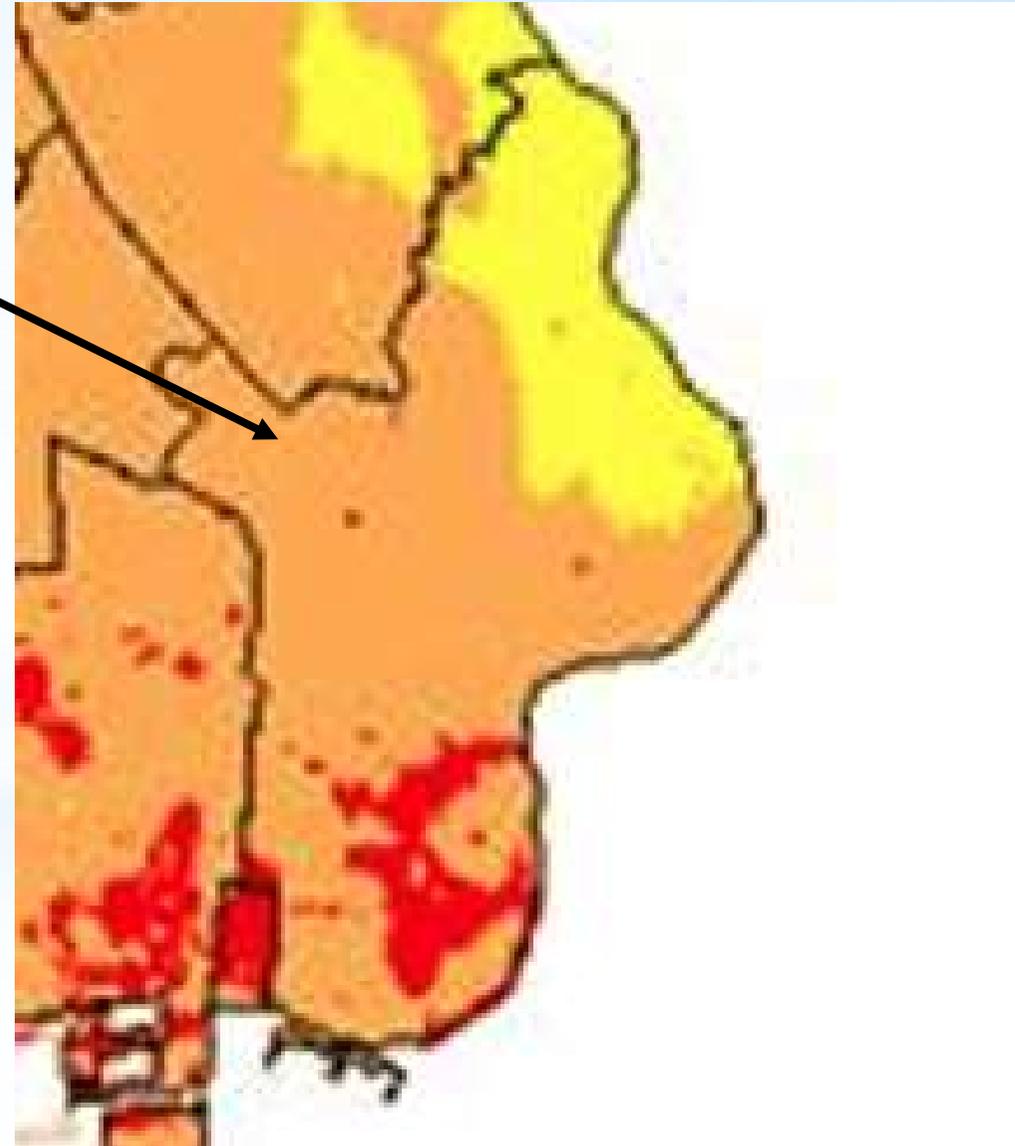
【死者】	582人	(4番/23区)
【負傷者】	6,713人	(5番)
【建物被害】	21,077棟	(4番)
【出火件数】	62件	(1番)
【避難者】	284,088人	(3番)
【帰宅困難者】	46,192人	(19番)

# 1 被害想定の更新

都心南部直下地震 (M7.3) の震度分布



都心南部直下地震 (M7.3) における江戸川区内の震度分布  
出典：首都直下地震等による東京の被害想定報告書（令和4年5月）



震度	割合
7	9.6%
6強	67.9%
6弱	22.6%

# 主な修正事項（案）

- 1 被害想定の更新
- 2 女性の参画
- 3 防災活動拠点の形成
- 4 感震ブレイカーの配布事業
- 5 情報発信ツールの充実
- 6 要配慮者支援体制の整備

## 2 女性の参画

### 【内閣府】

#### 第5次男女共同参画基本計画

市町村防災会議における女性委員の割合を令和7年までに30%

### 【東京都】

#### 審議会等の委員を男女それぞれ40%以上

令和4年8月達成済

### 【江戸川区防災会議】

委員総数：88名（男性66名 女性22名（女性委員=25%））

6号委員：35名（男性19名 女性16名（女性委員=46%））

# 新たに委嘱する女性委員

No	機関
1	江戸川消防団
2	葛西消防団
3	小岩消防団
4	江戸川防火防災協会
5	葛西防火防災協会
6	小岩防火防災協会
7	東婦会
8	はとの会

# 新たに委嘱する女性委員

No	機関
9	葛西自治連女性 連絡部会
10	江戸川区民生・ 児童委員協議会
11	東京都助産師会 江戸川地区分会
12	(特非) 手をとりあっ てつなぐ命
13	(特非) 首都圏防災士 連絡会
14	都立鹿本学園PTA
15	江戸川区景観審議会

# 主な修正事項（案）

- 1 被害想定の更新
- 2 女性の参画
- 3 防災活動拠点の形成
- 4 感震ブレイカーの配布事業
- 5 情報発信ツールの充実
- 6 要配慮者支援体制の整備

### 3 防災活動拠点の形成

【災害に強い首都「東京」形成ビジョン】

江戸川区では **4 地区** を選定

JR小岩駅周辺地区 篠崎地区 中川左岸 船堀地区

【**船堀地区**における高台まちづくりの考え方】

建築物と歩行者デッキ等をつないだ建物群で  
高台まちづくりを実現

緊急避難

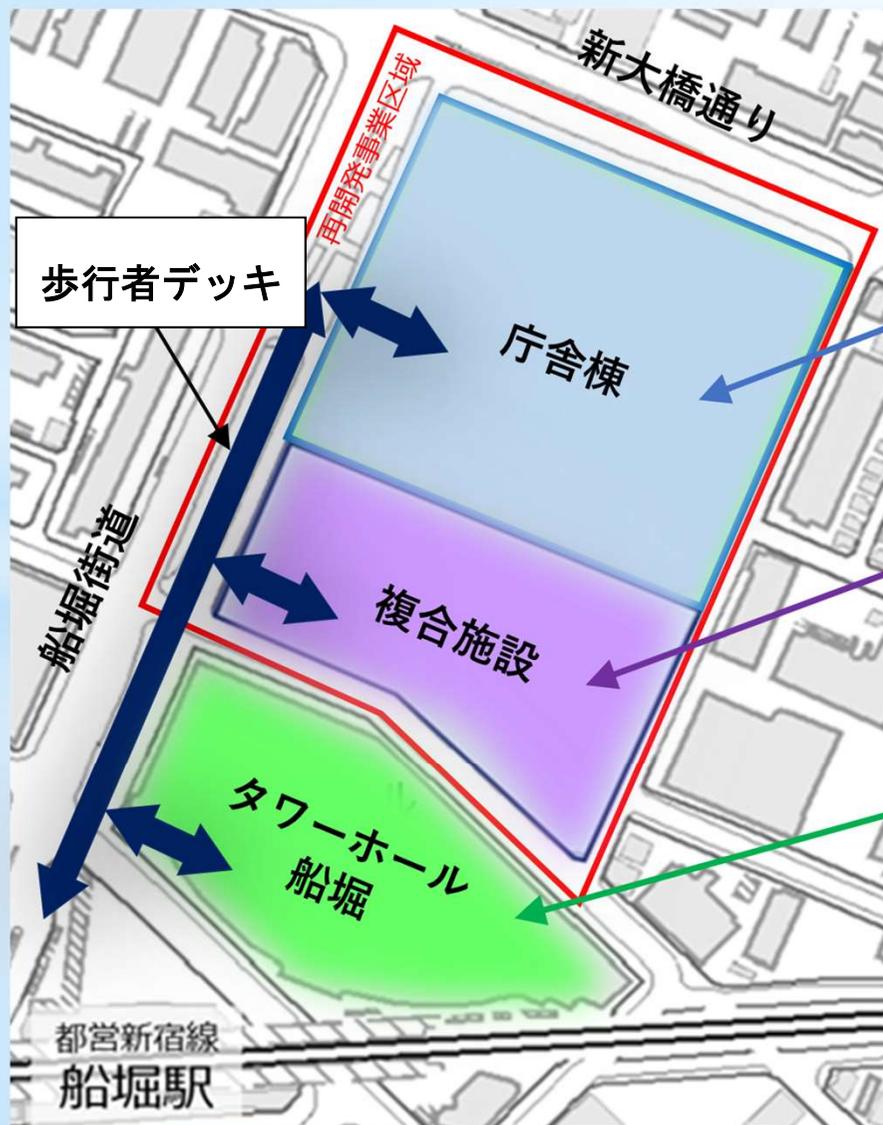
浸水区域外  
への避難

最低限の避難  
生活水準確保

社会経済  
活動の継続

# 3 防災活動拠点の形成

## 船堀地区における高台まちづくりの基本方針



各施設は浸水深 (AP. 5. 2m) 以上のフロアに設置

### 【庁舎棟】 災害対策本部

- 災害対応業務
- 情報発信
- 物資受入れ など

### 【複合施設】 避難支援

- 待避スペース など

### 【タワーホール船堀】 災害対応支援

- 待避スペース (緊急避難所)
- 復旧・復興支援 など

### 【歩行者デッキ】

- 建物間の移動・物資輸送

# 主な修正事項（案）

- 1 被害想定の更新
- 2 女性の参画
- 3 防災活動拠点の形成
- 4 感震ブレイカーの配布事業
- 5 情報発信ツールの充実
- 6 要配慮者支援体制の整備

# 主な修正事項（案）

- 1 被害想定の更新
- 2 女性の参画
- 3 防災活動拠点の形成
- 4 感震ブレイカーの配布事業
- 5 情報発信ツールの充実
- 6 要配慮者支援体制の整備

## 音声情報（6通り）

- 1 防災行政無線
- 2 防災放送確認ダイヤル
- 3 FMえどがわ割込み放送
- 4 ケーブルテレビ告知端末
- 5 広報車
- 6 緊急告知FMラジオ

## 文字情報（11通り）

- 1 エリアメール/緊急速報メール
- 2 えどがわメールニュース
- 3 区公式ホームページ
- 4 Lアラート
- 5 JCOMケーブルテレビL字放送
- 6 NHKデータ放送
- 7 防災ポータル
- 8 区公式X（旧ツイッター）
- 9 区公式LINE
- 10 防災アプリ
- 11 ヤフー連携

# 主な修正事項（案）

- 1 被害想定の更新
- 2 女性の参画
- 3 防災活動拠点の形成
- 4 感震ブレイカーの配布事業
- 5 情報発信ツールの充実
- 6 要配慮者支援体制の整備

# 6 要配慮者支援体制の整備

## 要配慮者

高齢者

障害者

難病患者

妊産婦

乳幼児

外国人

福祉部

災害要配慮者支援課

災害要配慮者支援係

危機管理部

災害要配慮者支援係

子ども家庭部

災害要配慮者支援係

健康部

災害要配慮者支援係

➡ 1つの組織で一元対応

第58回  
江戸川区総合防災訓練（案）に  
ついて

- 【日 時】** 令和5年11月16日（木）  
午前8時55分～午前11時00分
- 【会 場】** 江戸川区篠崎町1丁目地先  
「江戸川河川敷」江戸川大橋上流
- 【状況想定】** 午前9時にマグニチュード7.3規模の首都直下地震が東京都区部に発生し、広域的な被害が発生しているとの想定に基づく
- 【参加機関】** 43機関 20協力団体

# 訓練概要

**【目 的】** 防災関係各機関の連携強化  
地域住民の自主防災意識の高揚

## 【訓練項目】

- |                  |                                       |
|------------------|---------------------------------------|
| (1) 情報収集・提供・伝達活動 | (6) 緊急物資輸送活動                          |
| (2) 道路陥没復旧       | (7) 水難救助活動                            |
| (3) 救出・救助活動      | (8) 火災消火活動                            |
| (4) ライフライン復旧活動   | (9) 炊き出し活動 <small>4年ぶり</small>        |
| (5) 避難所開設活動      | (10) 医療救護所開設活動<br><small>4年ぶり</small> |

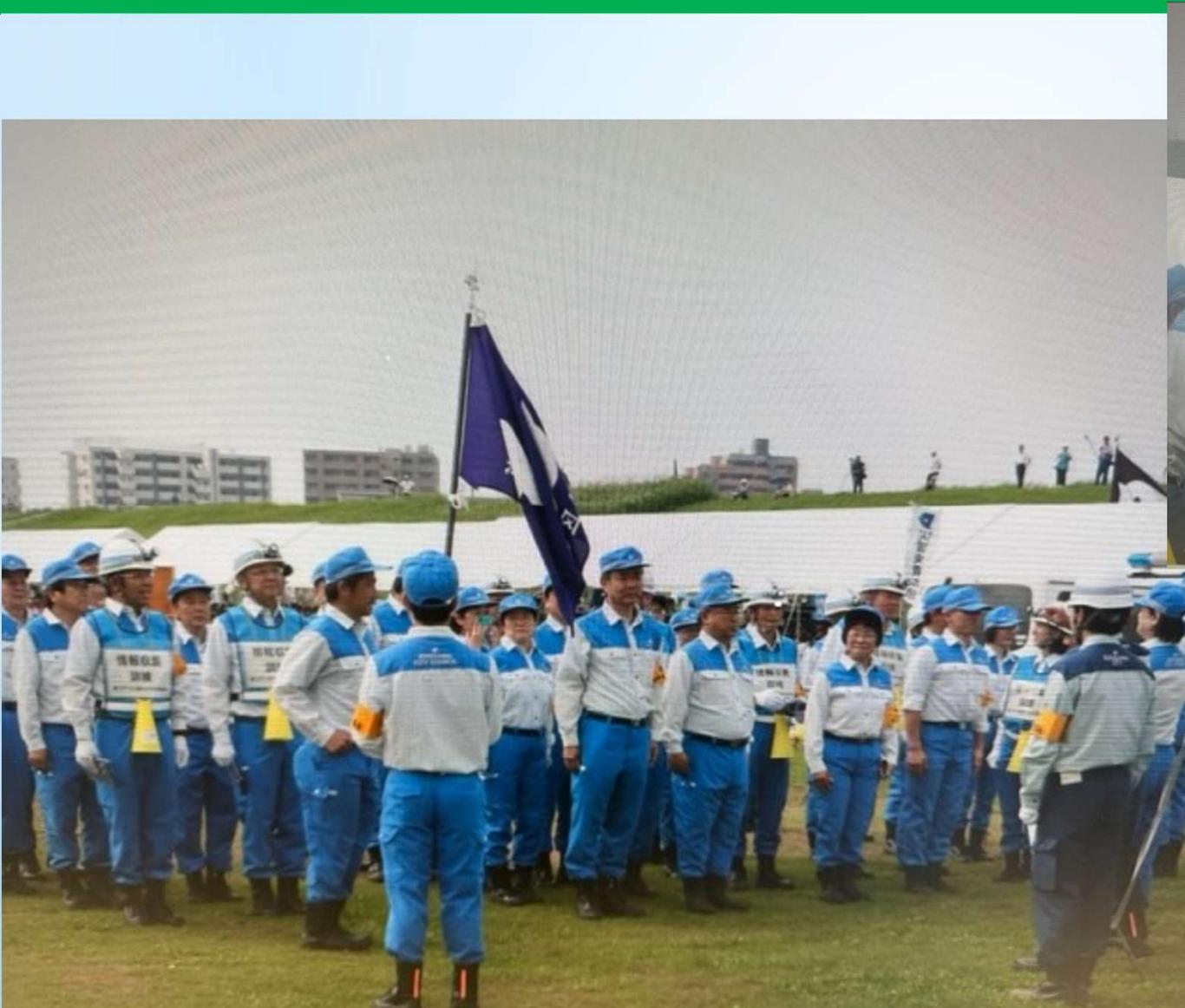
# 今年度の訓練の変更点

新型コロナウイルス感染症の影響で縮小していた規模を通常規模に戻し訓練を実施

- ① 一般参観の実施
- ② 住民訓練PRブースの再開
- ③ 医療活動と炊き出しの実施

※上記以外の項目は例年通り実施

# 3 江戸川区議会 災害対策本部設置 (区議会)



# 15・16 緊急医療救護所開設 医療活動

(医師会・柔道整復師会・歯科医師会・薬剤師会  
・薬業協同組合・江戸川看護専門学校・愛国高校  
・ボーイスカウト・江戸川区・区内病院)



# 2 4 炊き出し用米穀輸送活動 (米穀小売商組合連合会)



# 25 炊き出し活動

(日赤奉仕団、麺類協同組合、江戸川区)



# 30 炊き出し物資配布

(日赤奉仕団・麺類協同組合・リサイクル事業協同組合  
・トラック協会)





仮橋



# 会場レイアウト

出動車両待機場所  
(下流)

## 炊き出し実施

日赤・麺類  
炊き出し

出動車両待機場所  
(上流)  
消防車両

高層

倒壊  
A

倒壊  
B

## 一般参観実施

展示・体験  
ブース

小学生

## 医療活動実施

東京電力

東京ガス

道路陥没

校舎

緊急医療救護所  
区議会

拠点連携病院

拠点病院

保健所

NTT

水道局

事故車両

倒壊ビル

# 地区防災計画策定地区の 追加について

## 葛西第二スカイハイツ 管理組合

(防災士を交えた意見交換会等を実施)

### ◆主な策定内容

- 1 地震発生から災害対策本部設置まで
- 2 安否確認
- 3 防災会会員の始動
- 4 建物の危険個所の確認
- 5 対策本部で必要な物品
- 6 各家庭の防災対策

# ◆地区の位置



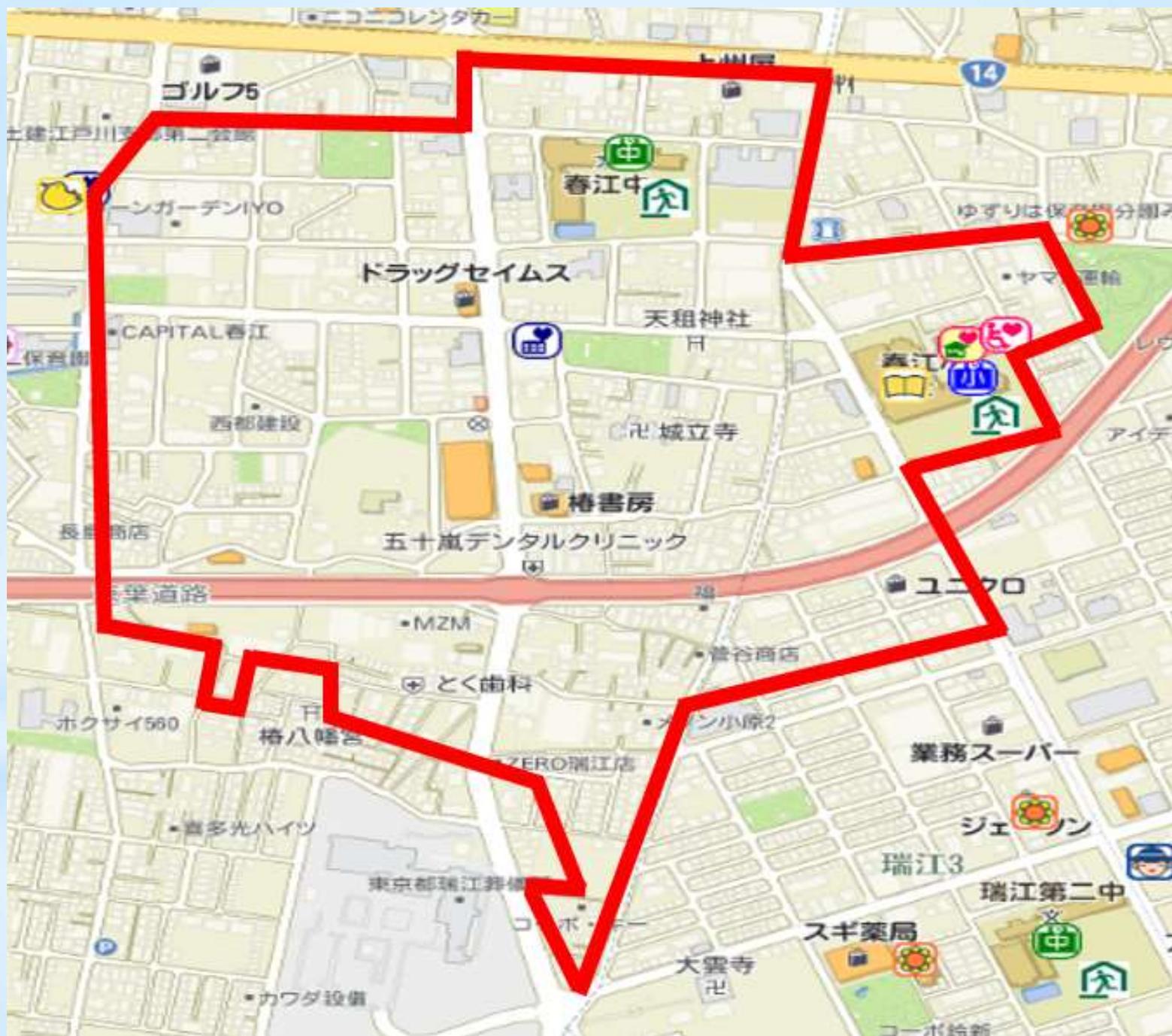
## 椿親和会

(防災士を交えたまち歩きや意見交換会等を実施)

### ◆主な策定内容

- 1 地区の特徴と危険性の把握
- 2 自助努力でできること
- 3 各家庭の防災対策
- 4 安否確認の方法
- 5 地震発生時の行動
- 6 防災訓練の計画と参加促進
- 7 一時集合場所と避難所

# ◆地区の位置



令和5年度

江戸川区防災会議

報告事項

# 水害ハザードマップの 改定

# 水害ハザードマップの改定

より多くの区民が**広域避難**を**自分事**として捉え、**早めの広域避難**ができるようなハザードマップを**改定**します。



現行版

見やすさ

東京都高潮  
浸水想定区域図  
改定  
(R6, 4月予定)

最新情報の更新

わかり  
やすさ



改定版

## 〈検討体制〉

検討委員会 (23名)

専門家、防災従事者、江戸川区各部長

意見聴取会 (24名)

連合町会長・団体等の代表者

# 江戸川区業務継続計画 (水害編) の策定

# 江戸川区業務継続計画（水害編）の策定

## 目的

風水害第三次態勢の構築

職員配備態勢の構築

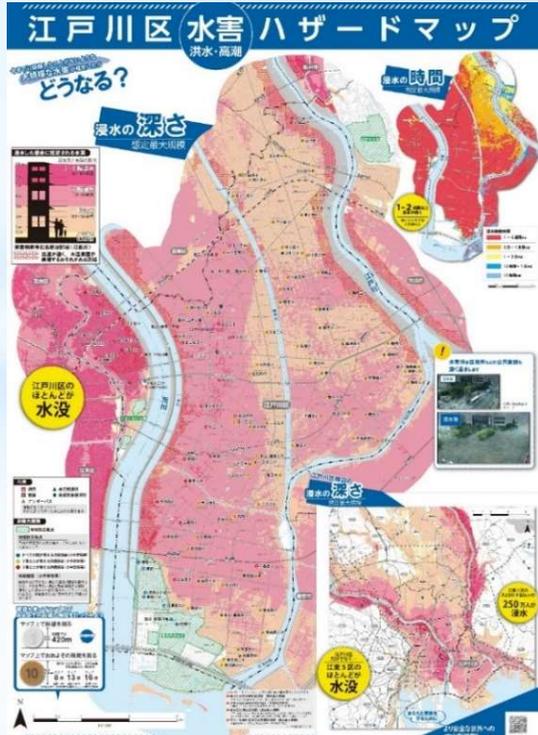
➡ 各部署で大規模水害時に優先する業務及び対応体制を整理

## 概要

巨大台風による高潮の発生、荒川等の氾濫による大規模水害を想定

### 想定する水害

種類	・ 台風等に起因する高潮・洪水
規模	・ 荒川流域の3日総雨量632mm ・ 利根川、八斗島上流域の3日間総雨量491mm ・ 室戸台風級910hPa 東京港に最大高潮が発生 堤防等の決壊
浸水深	・ 最大10m
浸水継続時間	・ 最大2週間以上



# 江戸川区業務継続計画（水害編）の策定

## 検討会議

### (1) 業務継続検討会議

業務継続計画策定の意思決定の場

4回

### (2) 業務分類調整会議

優先業務の選定と優先順位付け

3回

学識

### (3) 実務者業務

検討体制、優先順位選定、人員  
業務必要資材等

各部検討

# 感震ブレーカー 配布事業について

# 感震ブレーカー配布事業について

## 1 概要

東京都が実施する木造住宅密集地域の木造住宅を対象とした配付事業に当てはまらない世帯のうち、希望する世帯に感震ブレーカー（コンセントタイプ）を無料配付する

## 2 対象世帯

330,000世帯（想定）

## 3 配付する感震ブレーカー

東京都が配付する感震ブレーカーと同じく、コンセントタイプを配付する

（今年度の上限：75,000個）

## 4 周知方法

- ・ 広報えどがわ 9/15号に掲載
- ・ 特設ホームページ（9/15開設）等

## 5 スケジュール

- ・ 対象世帯に対して、9月下旬以降に順次申請書等が入った封筒を発送（申請期間：10/23～1/31予定）
  - ・ 申し込みがあった世帯に対して、11月下旬以降に順次感震ブレーカーを発送
- ※ 配布予定数を超える申し込みについては令和6年4月以降に順次配布



配付する感震ブレーカー



お届けする封筒

令和5年度

江戸川区国民保護

協議会

# 国民保護法に基づく緊急 一時避難施設の指定に ついて

## 【目的】

武力攻撃事態に備えた避難施設として有効である

地下施設や堅牢な建物を指定

# 都立施設

1 6 箇所

内訳：地下鉄 3 駅

施設 1 3 箇所

# 区立施設

1 6 5 箇所

内訳：小中学校 1 0 4 校

施設 5 1 箇所

地下施設 1 0 箇所

# 指定施設総数

1 8 1 施設

令和 5 年 9 月 1 5 日 指定

An aerial photograph of a city, likely Tokyo, with a prominent river winding through it. The image is overlaid with a semi-transparent blue filter. The text is centered and written in white, bold Japanese characters.

令和5年度

江戸川区防災会議

江戸川区国民保護協議会

令和5年10月18日